

広島大学病院(取り組み事例:肝疾患診療連携拠点病院研修会)

2019年10月26日(土)に令和元年度第2回広島県肝疾患診療連携拠点病院研修会を開催しました。

内容: 講演 テーマ:『県内のチームビルディング』

「他の医療機関との連携」

講師:岡山大学病院 難波 志保子 看護師

「陽性者の拾い上げと受診へのアプローチ」

講師:徳島大学病院 立木 佐知子 看護師

「職域へのアプローチ」

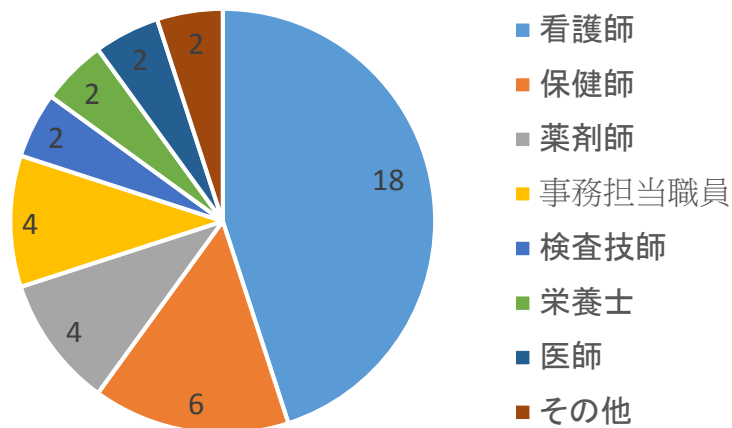
講師:広島大学病院 河本 有花 副看護師長

パネルディスカッション テーマ:『県内のチームビルディング』 パネリストは上記の講師3名が担当

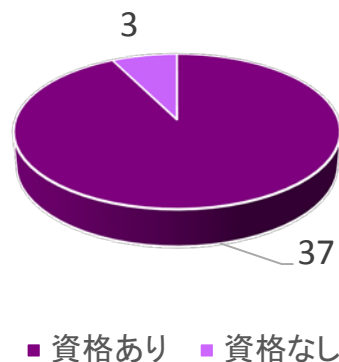
参加者数:50名 アンケート回収:40件 アンケート回収率:80%

令和元年度第2回肝疾患診療拠点病院研修会 アンケート集計結果(n=40)

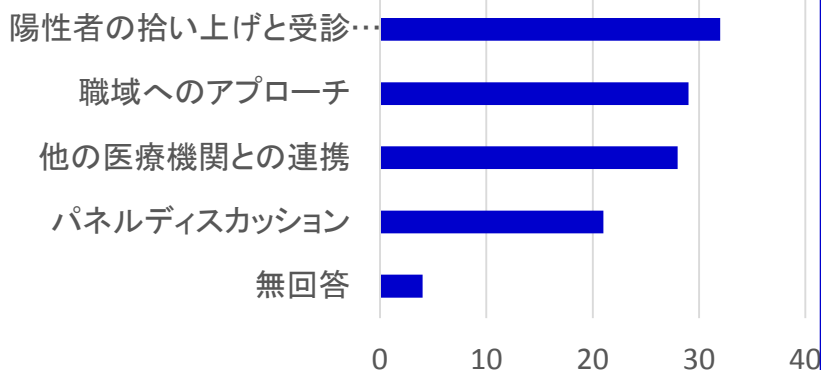
参加者の職種



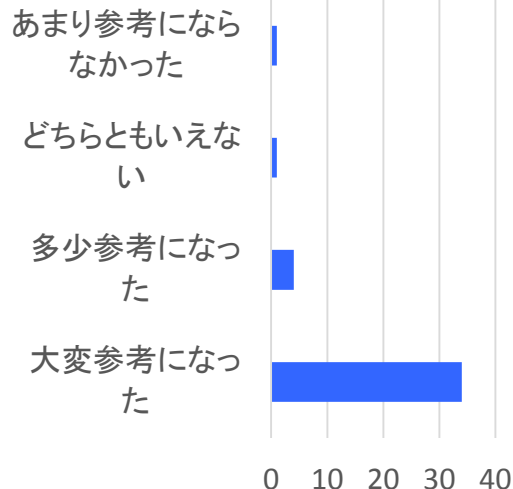
コーディネーター資格



参考になった内容(複数回答あり)



研修会の満足度



当日の様子



講演



パネルディスカッション

感想

～コーディネーター活動について～

- ・検診目的の患者が採血する際、看護職のコーディネーターが肝炎ウイルス検査の受検を勧めているが、その場合の説明の参考になりました(医師)
- ・テーマに興味があって参加しました。調剤薬局勤務の薬剤師の受検勧奨のタイミング等参考にあり、肝疾患COとしてだけでなく、普段の仕事にも役立つ事も多く学び励まされました(薬剤師)

～他県の取り組み・パネルディスカッションについて～

- ・他県のコーディネーターの活動は興味深く拝聴しました。出張肝臓病教室のすぐ後に採血することには驚きました(医師)
- ・パネルディスカッションで色々な話を聞くことが出来て良かった(看護師)

多くのご意見をありがとうございました。